

- 人口 : 123,656人 (令和3年5月31日現在)

年少人口 (0~14歳)	14,286人 (11.6%)
生産年齢 (15~64歳)	69,558人 (56.3%)
老年 (65歳~)	39,772人 (32.1%)
- 面積 : 208.35 k m<sup>2</sup>



○平成25年内宮外宮年間参拝者数 : 約1,420万人

## 背景

- 伊勢市交通バリアフリー基本構想の策定（H29.2 五十鈴川駅周辺地区を重点整備地区に指定）
- バリアフリー法の一部改正によりバリアフリーマスタープランの制度が創設（H30.5）
- 共生社会ホストタウンに登録（R1.8）ラオス民主主義共和国パラ陸上チームの受け入れを行う

## 策定までの取り組み

### ○協議会の設置

学識経験者、施設設置管理者、公安委員会、高齢者・障がい者団体等による協議会（全7回）

### ○市民アンケートの実施

市内在住の16歳以上を対象に、**高齢者、障がい者、子育て世代、その他**の4分類を無作為に抽出4,500通を郵送、回答数1,645通（35.8%）

### ○関係団体ヒアリング

交通事業者（鉄道、バス、タクシー）、高齢者・障がい者団体、観光団体にヒアリングを実施

### ○まち歩き現地確認

市の現況や上記の結果から抽出した移動等促進地区候補地区の、バリアフリー化の現状と課題を現地で確認  
・伊勢市駅・宇治山田駅周辺地区（R1.12.19）・二見浦駅周辺地区（R1.12.23）

### ○バリアフリーマスタープラン（案）の作成

上記の結果を反映し、基本構想との整合を図った上で、  
移動等円滑化促進地区、基本理念及び基本方針、  
ソフト事業（心のバリアフリー）等を記載した案を作成

### ○パブリックコメントによる市民意見の反映（R2.12）

図 まち歩き現地確認の様子



令和3年2月策定・公表

## 概要

### ○市全体の包括的なバリアフリー化の考え方や方向性（基本理念・基本方針）を定める

基本理念：市民と来訪者が**安心・快適**にいいきと過ごせるまちづくり

基本方針1：**快適に移動**できる、**連続したバリアフリー空間**の整備

基本方針2：**利用者の安心**を考えた、**継続的なバリアフリー化**の推進

基本方針3：**共助のまちづくり**へ向けた、**わかりやすい情報の充実**と**住民意識の醸成**

### ○移動等円滑化促進地区の選定方法

バリアフリー法に定められた選定要件

当市の基本構想における重点整備地区選定の考え方

市民、事業者、関係団体の意見



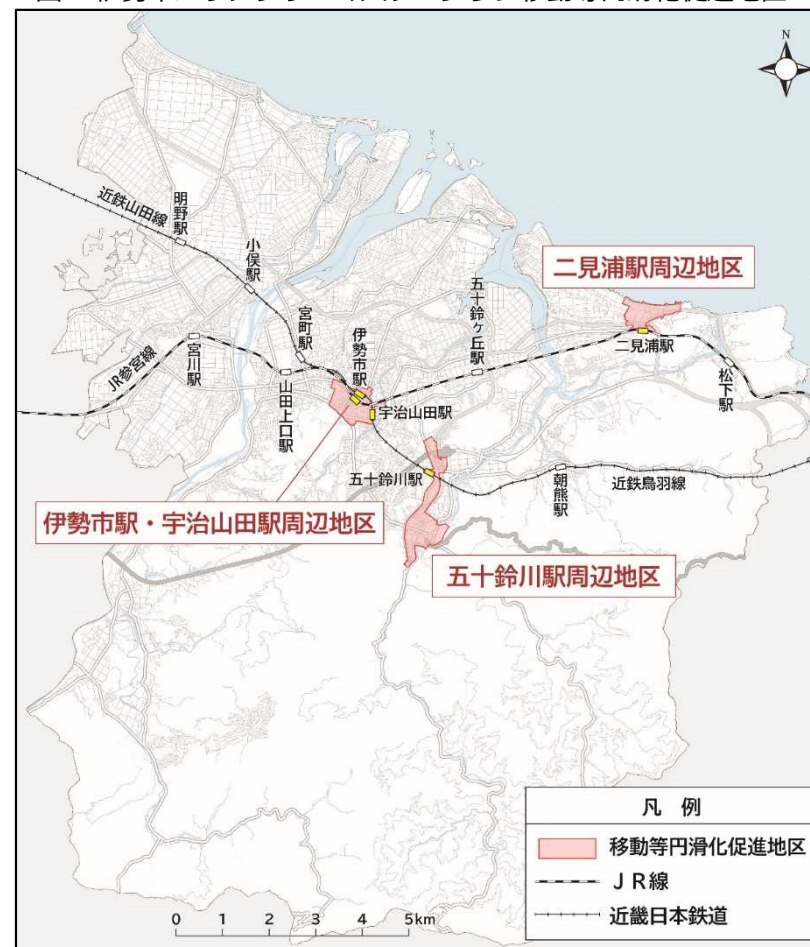
選定要件により移動等円滑化促進地区を抽出

- ・伊勢市駅・宇治山田駅周辺地区
- ・二見浦駅周辺

伊勢市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区の区域を移動等円滑化促進地区に選定

- ・五十鈴川駅周辺地区

図 伊勢市バリアフリーマスタープラン移動等円滑化促進地区



## 工夫したこと

- まち歩き現地確認において、障がいのあるメンバーを加え、他のメンバーについても車いす体験等を実施
- ソフト面（心のバリアフリー）について、市の取り組み、各関係団体の事例、民間企業の事例を記載
- 生活面だけではなく、観光面におけるバリアフリー化の方針を記載

## 苦勞したこと

- 移動等円滑化促進地区の範囲設定  
立地適正化計画の都市機能誘導区域との整合性、徒歩圏内とする距離の設定

## 今後の事業予定

- バリアフリー基本構想における重点整備地区の設定を検討（伊勢市駅・宇治山田駅周辺、二見浦駅周辺地区）

図 伊勢市バリアフリーマスタープラン移動等円滑化促進地区

